

- 対象地域
広島県山県郡北広島町
(西中国山地国定公園)
- 設立日:H16.11.7
- 構成員数:31人
- 全体構想作成日:H18.3.31
- 実施計画作成日:H18.10.30
(R2.3月現在)

やわたしつげんしぜんさいせいきょうぎかい

八幡湿原自然再生協議会

再生 目標

「命の環 つなげる」をキャッチフレーズに、牧草地造成前の昭和30年代前半頃の湿原生態系を再生する。

本地域は、広島県の北西部に位置し、1,000m級の山に囲まれた標高800mの盆地です。また、ヌマガヤーマアザミ群集に代表される中間湿原が点在し、自生のものとしては貴重なカキツバタが生育しています。

しかし、牧場化に伴う排水施設や道路の整備が原因と思われる湿原の乾燥化により、周辺部からアカマツやイヌツゲ等の木本類が侵入し、希少種の生育環境が悪化しています。このため、自然生態系の保全・再生のための計画を作成、湿原環境の再生に向けた取り組みを進めています。



【事務局】

730-8511
広島市中区基町10-52
広島県自然環境課
野生生物グループ内
電話:082-513-2933

活動報告

自然再生事業地(霧ヶ谷湿原)の地下水位観測報告

【報告者】広島県自然環境課 村田 博史

広島県では、自然再生整備事業の施行前の平成15年に地下水位計を設置し、継続して地下水位の観測を行っており、その近況を報告します。

霧ヶ谷湿原水位観測一覧図の左側が上流で本流水路(青線)の両側が自然再生事業地となっています。

観測内容は、自己記録式自動観測装置を10か所(8回/日)、携帯式手動観測装置を7か所設置し4月から積雪期までの間、毎月2回の観測を実施しています。

C3地点については、平成29年7月の大雨による出水(土砂流入)により計測不能となりました。

全体としては、各地点に凡例の評価を変えるような大きな変化はありませんが、若干の地下水位の上昇が見受けられ、近年の保全整備作業の効果が見受けられます。

(参考:経年比較) 霧ヶ谷湿原 水位観測一覧図



保全・管理部会による現地調査

自然再生事業実施計画【進捗状況】

実施計画に基づき、区域内において河川兩岸の「立木の伐採」「コンクリート水路の撤去、自然形態河川の整備」「取水堰3か所の設置等による河川の堰上げ」「幹線導水路、補助導水路の整備」「観察路、解説板等の整備」を実施し、平成22年3月に実施計画に基づく工事は完了しました。

現在、湿原生態系の順応的な管理(草刈り・立木伐採等の環境整備)を行うため、生物・気象・地下水位等のモニタリング調査を継続して行っています。

また、自然生態系や生物多様性の保全の重要性を県民の皆様様に認識してもらうため、自然観察会の開催や自然環境教育等に積極的に活用しています。